

ATIS の「新興国の知財調査分科会」 マレーシア・シンガポールに視察団派遣



(マレーシア知的財産公社のweb 掲載より)

2013年度、新興国の知財調査分科会では、アセアン諸国の特許調査データベース、知財制度、権利行使、および技術移転の実態について調査を行っており、この実状を把握すべく、2014/5/25-31 にかけてマレーシア・シンガポールに 13 名の視察団を派遣しました。

JETRO バンコク知的財産部長の大熊靖夫様にマレーシア知的財産公社 MyIPO、マレーシア知財高裁、シンガポール知的財産局 IPOPOS、シンガポール国際仲裁センター-SIAC の訪問を仲介頂き、訪問先との意見交換を行いました。この他に独立行政法人科学技術振興機構シンガポール所長の小林治様にシンガポールの技術移転機関 ETPL と IPI の訪問を仲介頂き、訪問先との意見交換を行いました。またマレーシアの特許法律事務所 2 か所 (Henry Goh, Shearn Delamore)、シンガポールの特許法律事務所 (Marks & Clerk) を訪問し意見交換を行いました。

マレーシアでは MyIPO の特許データベースの収録状況、ASPEC への取組、また権利行使の実態について情報を得ることが出来ました。シンガポールでは知財ハブ構想が進められており、ASPEC の牽引政策や海外からの知財仲裁取り込みの推進、技術移転政策の実態を把握することが出来ました。

いずれの国も活気に溢れていたのが印象的です。

詳細については、さらに新興国の知財調査分科会で議論・整理し、7月の例会と報告書にて紹介する予定です。